

## 署名したあと、戻ってきて 3000円カンパする人も 国連軍縮週間～元安橋で「ヒバクシャ国際署名」



国連軍縮週間中の26日（土）午前、県原水協と県被団協は元安橋で「ヒバクシャ国際署名」を市民や観光客に呼びかけました。県原水協の神部代表理事や古田事務局長、建交労の山田書記長がハンドマイクで、国連軍縮週間中であること、「核兵器禁止条約」の批准国が33カ国に達し、来年には発効すると予想されること、被爆国である日本政府が条約に反対していることなどを訴え、条約が一日も早く発効するために、署名に協力を、と呼びかけました。



フィリピンから来日し、大阪で介護の勉強をしている4人の女性がそろって署名。ある女性は、署名したあと、行きすぎてからしばらくして戻ってきて3000円もカンパしてくださいました。イスラエル全員署名してくれました。またイスラエルから来た十数人の団体観光客は

ほとんどが署名に応じてくれました。

この日は1か月以上季節が逆もどりのような暑い日差しで、みんな汗だくになって署名をよびかけました。約1時間で参加者17人、署名145筆、カンパ4000円が寄せられました。

